

2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 44 地方独立行政法人明石市立市民病院

記入日 2023年(令和5年)4月14日

1. 2030年までに達成したいこと	地域完結型医療の中核として、より安全で質の高い医療の提供、思いやりのあるチーム医療の実践、次世代の人材育成に取り組みながら、地域から信頼され選ばれる病院であり続ける。	3. 関連するゴール	1 貧困をなくそう	2 健全なエネルギー	3 気候変動に具体的な対策を	4 質の高い医療を	5 ジェンダー平等を	6 安全な水とトイレを世界中に	7 再生可能エネルギー	8 働きがい、経済成長、雇用	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
2. 取組の概要	(1)医療需要の将来予測と分析に基づき今後の診療体制の方向性を明確にする。(2)施設に必要な機能を整備するとともに、医療職にとって魅力と働きがいのある職場環境を創出する。(3)医療や健康づくりに関する情報発信及び普及啓発を行う。	3. 関連するゴール	10 人や国ごとの平等をすすめる	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくばないで、かき減らす	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正な社会をつくらなく	17 パートナーシップで目標を達成しよう	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 主な取組の達成状況

	①目標値	②当初値	③実績値		達成度
			2022年度	2023年度	
(1) 地域に密着した病院の将来構想、地域医療構想の進捗を見据えた今後の病院体制のあり方検討部会を立ち上げ計4回の議論を実施した。	部会による検討回数	4 回	0 回	4 回	100%
(2) ・再整備準備プロジェクトチームを発足し、事前調査等を行った。 ・施設自体の機能性や充実度等も医療職を引き付けるポイントの1つであることを踏まえた再整備の議論を行う。	①目標値	②当初値	③実績値		達成度
	常勤医師数	70 人	65 人	66 人	
	2030年度	2020年度	2022年度	2023年度	
(3) ・病気の予防を図ってもらうため、ホームページに予防医学講座の動画(YouTube)をアップさせた。(各種疾患別6回) ・広報活動の一環として、広報誌(ブリッジ)の発行を行った。	①目標値	②当初値	③実績値		達成度
	SNSの活用等、新たな広報手段での情報発信	12 回/年	6 回/年	10 回/年	
	2025年度	2020年度	2022年度	2023年度	

5. 取組結果	(1)「地方独立行政法人明石市立市民病院 今後のあり方に関する報告書」を作成した。 (2) 再整備準備プロジェクトチームの稼働準備ができた。 (3) 動画等を活用することで、いつでもどこでも情報収集ができる仕組みになった。	問合せ先	団体名：地方独立行政法人明石市立市民病院 担当課：経営管理本部総務担当 電話：078-912-2323 メール：byoinsom@akashi-shiminhosp.jp 担当者：竹中 祐造
---------	---	------	---

6. 今後の課題と取組	今年度より、病院再整備事業計画をスタートさせ、当院の診療機能の向上・改善等を行っていき、医療職にとって魅力と働きがいのある職場環境を整備していき、医療職の確保に努めてまいります。 また、SNS等の新たな広報手段についても、院内で継続的に検討してまいります。	連携希望	なし
-------------	---	------	----